

第5回吉野川市中小企業者等振興対策協議会会議録要旨

- 1 招集年月日 令和2年2月17日（月）
午後2時00分から午後2時45分（45分）
- 2 招集の場所 山川地域総合センター 2階 204会議室
- 3 出席委員 7人
- 4 会長選出人 1人（財務局徳島財務事務所）
- 5 出席職員 事務局4人
- 6 傍聴人 3人（吉野川商工会議所、吉野川市商工会、一般）
- 7 会議日程
 - 1) 開会
 - 2) 協議事項
 - ① プレゼン大会の評価について（前回の続き）
 - ② 吉野川市中小企業者等振興対策協議会評価表について
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 8 会議の経過

【日程2 協議事項】

◆ 協議事項（1）プレゼン大会の評価について（前回の続き）

会長 （1）プレゼン大会の評価前回の続きについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 （事前配布資料の説明）

会長 おえっコスポートクラブさんについては、今後のアドバイス等含め応援の仕方も考えましたが、人を出さずにやれというのはマンパワー的に無理だと思います。事務局が（おえっコスポートクラブの）会議に出て、そこで話を聞いてなにが問題なのかを聞き、我々の会にフィードバックすることをプレゼン大会に出た方へ還元していくことを考えています。佐藤さんが行くのですか。

事務局 事務局で考えましたら。

会長 アリーナにはかなりお金を入れており、市としても価値があるのでうまくいけば広がりがあると思います。ミズノが（指定管理を）終わる段階にはある程度こちらの何かできていないと辛いなど個人的には思っていますので、それくらいを目処に、最終的には観光協会的な機能を持ちながらそこを活かせるようなものが理想だと思います。なぜかと言うとビジネスがないと観光協会を作っても仕方がないからです。ごくろうさん等はまだ動きがないため、もし会議があればそこに行って聞いてもら

います。原田さんは今日実際の動きを見て考えようということです。観光協会のような組織については、今の段階では担う人が弱く、行政100%の観光協会は過去に潰れてきた歴史があるので事務局には、山川つつじ祭りから始まり梅の花まつりで終わる一連の吉野川市周辺の活動のネーミングを作ってブランディングができたらいいなという話をしました。観光協会は作りたいのですが、(徳島県の)右下であれば右下観光協会というネーミングをつけるとそのイメージがつかますので、そのような形で盛り上げられたらということを経理局と話をしていました。具体的な隣の阿波観光協会というご提案があったのですが、同じ形で半分くらい市がお金を入れるのは難しいため、ビジネス環境を作ることと考えていきたいと思っています。

委員 私も今日明日に作れということではなく、先ほど会長がおっしゃったように皆のまとまりができたときに必要であれば組織を再構築したいと考えています。

委員 会長 お祭りにはダイレクトに市から予算が降りてくるのですよね。そうなんです、ブランディングできるはずで、観光協会がしている仕事は、ある部分は今の行政の仕事としてやれるはずで、機能としてはやらなくてはならないと思います。そういったイメージで関連部署に伝えて彼らがやっている事と同じようなことを今の予算の組み合わせで調整してできるのならやれる方向で考えて、これは行政内容ですので我々からは他部署に圧をかけることしかできませんが。その機能を観光協会に移して独立させるというイメージなので、仕事の部分があって移管させないと結局ゼロから始めると意味がありません。あと、宿の連携ですが、旅館連盟みたいなのはないのですか。

事務局 会長 ありません。結局今は市単位で連名を組むよりは個々がネットに出す方が効率的なので、悪い事だとは思いません。ただ、今だと個人単体としてのブランド部分にしかありませんが、地域ブランドがつくと値段を高く付けても来たいとなり、その部分がリアルかどうかだと思います。個々でする彼らに対してプラスアルファでブランディングがつくというイメージです。この会のスタートでそういうイメージを持っていけばいいという感じでしょうか。

委員 宿泊のターゲットを日本人にするのか外国人にするのか、私の知る旅館系に、日本人が泊まりに来るかということ、日本を味わいたい外国人が受け入れやすいのではないのかなと思います。

会長 私の観光協会のイメージはアリーナができるのでスポーツツー

- リズムとして展開した宿泊型を考えた際の観光協会や宿泊の流れです。アリーナを価値あるものとするためにスポーツツーリズム等を考えて宿泊と連動させるといいかなということで議題にあげ、そこを核に考えるべきではないかと思います。
- 委員 ブランディングというイメージがあったので、アリーナは地域ブランドとどのように繋がっていくのでしょうか。
- 会長 野球の町、阿南理論です。阿南は草野球の聖地になっています。京都ブランドは世界でのブランディングですが、ピンホールマーケットでやっている、そのスポーツの範囲の人しか知らないけれど、その人たちは来たいというイメージで、スポーツをキーワードに総合的に考えていくと様々なことがあると思います。
- 委員 小豆島でバスケットボールBリーグの公式戦をし、地域自体が盛り上がっています。アリーナにBリーグのような公式スポーツチームを呼んだりホームにすることは可能でしょうか。
- 会長 それを自分がやりますと言うと、みんなが応援しようというのがこの会の趣旨です。皆で言い合う内にそれはやった方がいいという環境になれば自然に人が集まることは久米委員がいつも言っていることです。何が起こるか分からないけれど、チャレンジすることが大事で、チャレンジが生まれる会がプレゼン大会です。自分（財務局の方）で会を開いて今のようなことをしていますので、どのようにしているのかお願いします。
- 財務局 プライベートで香川県を中心に大手企業の経営者、地元で起業をしようとしている若手起業家、金融機関、支援機関、税理士、弁護士、医者、専門職、マスメディアの方々という地域のピースを一カ所に集めて継続的にテーマを設けて会をしています。職場や家庭には強いネットワークがあり、強いネットワークを人生の中で消費している人が多い中で、弱い繋がりとしている人たちがなんとなく会える場が重要だと思っています。この場も弱い繋がりとしてこれだけの地域のキーマンが集まっている場というのは重要だと思っています。弱い繋がりですら得た発想を仕事に持ち帰りどうビジネスに繋げていくかという自分の中の実験ということで会を主催しています。アウトプットを目的にすると弱い繋がりはいまうまくいかないの、そこから何か生まれることを考え、気づけば動く、人が集まれば動くということです。この会とまさに目的は同じで、どこかで私の持つネットワーク、コミュニティとこの会を連携させたり、県を越えて連携というように繋がれば私のやっていることの発展性もあると思います。

会長 周りの良いものは全部取り入れ、ビジネスは吉野川市だけではなく、そういうことも含めて来年は考えていけたらと思いますので、今日は結論というわけではありません。次に協議会の評価表について事務局からお願いします。

事務局 (資料説明)

会長 先ほど委員と話をしていたのですが、グローバル企業的に、この後の状況をお話しいただいたほうがいいのかと思います。

委員 (中国にある自社工場の現状報告)

会長 ずっと(工場が)止まっているということでしょうか。

委員 止まっており、創業すると罰せられます。(コロナウイルスの脅威が)長期化した場合、自治体等は策を講じてくれるとは思いますが。

会長 体力ある会社はまだ大丈夫ですが、そこがだめになり下請け等でキャッシュが止まると怖いです。早めにヒアリングをしてすぐに対応できるよう可能であればしたほうがいいです。新居委員のところは中小企業なので2か月遅れたら終わりますよね。

委員 きつい部分があります。

会長 半年後にお金がきても仕方がないです。リスクが長期化しそうで、国も動いているため自治体としてはヒヤリング等して動けるようにしておけば潰れないと思います。

委員 金融機関さんの考えはどうでしょうか。

委員 今回、消費増税とコロナと暖冬と直近のGDPも悪かったためさらに落ち込むことも予想されます。我々の対策としてはコロナ対策の緊急時という制定書はできましたので徳島大正銀行でもしています。お客さまにはキャッシュを持っておきませんか、ご融資という形でご協力をさせていただいています。

会長 それって利子負担がないとマイナスでしかないですね。

委員 良心的な金利でやらせていただいています。

会長 利子負担を含め緊急の配慮は必要なのかと思いました。

【日程3 その他】

会長 それでは事務局からその他についてご説明をお願いします。

事務局 (お礼)

【日程4 閉会】

会長 (閉会の挨拶)

(視察)